

第33回 法人会全国大会長崎大会の報告

平成28年10月20日(木)に第33回法人会全国大会長崎大会が長崎市の長崎ブリックホールで開催され、全国から約1,800名が参加しました。

第1部では「地方が生き残るために~長崎 その歴史 その魅力 その未来~」をテーマに長崎総合科学大学教授のブライアン・バークガフニ氏の記念講演があり、流暢な日本語で長崎の歴史、文化について独自の視点から示唆に富む内容の講話を頂きました。

第2部の大会式典では、一般社団法人長崎県法人会連合会の宮脇雅俊会長の開会の辞、主催者を代表して池田弘一全法連会長の挨拶に続き、迫田国税庁長官ほか来賓の祝辞、会員増強表彰等の授彰式を経て平成29年度税制改正に関する提言の要旨が発表されました。

提言要旨は、消費税率10%への引き上げ再延期により、再度財政健全化への道筋を明示し、歳出・歳入の一体改革に係る具体的な目標設定が必要なこと。社会保障制度においては、「給付」を「重点化・効率化」によって可能な限り抑制するとともに適正な「負担」を確保する必要があること。中小企業の活性化に資する税制措置の拡充を図ること。中小企業にとって円滑な事業承継に資する本格的な事業承継税制を創設する必要があること等が柱となっています。続いて、青年部会による租税教育活動の報告があり、終幕は、「平成29年度税制改正に関する提言」の実現を強く求める大会宣言で締めくくられました。

第3部では、会場を長崎駅前のホテルニュー長崎に移して懇親会が行われました。女子高校生による蛇踊が披露され、名物の皿うどんや角煮饅頭などが振る舞われ、長崎らしい雰囲気が醸し出されました。懇親会場を後にした面々は異国情緒豊かな長崎の夜の街に溶け込み、思案橋あたりの人波は法人会員一色に染められていました。